

事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2018 年 1 月 6 日

事業名: 平成29年7月九州北部豪雨災害に関わる支援事業

団体名: コミサポひろしま

事業完了日: 2017 年 12月 31日

支援金額 : 600,000円

事業内容:

(1) 事業対象地域 : 福岡県朝倉郡東峰村 及び 朝倉市杷木赤谷地区

(2) 事業目的 : 重機を活用した被災地の復旧支援、並びに一般ボランティアの活動支援

(3) 活動人数 : 団体スタッフ 7名 ボランティアスタッフ 15名以上

(4) 活動期間 : 7月11日～8月30日

※8月30日以降の活動については、現地で連携するOPEN JAPAN 等の団体と情報共有を行い、12月までの活動の必要性があれば随時対応を予定していたが、その後の支援の日程等の関係で実施せず。

(5) 活動内容 (重機1～2台、ダンプ1～2台で活動) ※共に1台は団体がリース、1台は集落内のものを活用

- ① 集落内の用水路・生活道路・共有スペースからの流木や巨石の撤去
- ② 被災家屋からの土砂・流木の撤去
- ③ 一般ボランティア活動家屋での活動支援
- ④ 災害ボランティアセンターからのボランティアコーディネート
- ⑤ その他、協力団体と連携した活動

(連携団体) OPEN Japan, 風組関東 等

(6) 対応件数 : 20件程度 (7月～8月上旬は主に被害が多かった西福井地区、福井地区で活動)

(8月後半については朝倉市杷木地区での被災地域で活動)

事業評価:

1. 事業目標の達成状況:

【契約時の目標】

主に人力での撤去が難しい流木・土砂等の撤去と、一般ボランティアによる活動の安全確保と活動支援。

【目標の達成状況】

東峰村災害VC宝珠山サテライトにおいて、必要とされる重機ニーズの対応を行うことができた。また、それにより一般ボランティアの安全確保と活動の促進に繋がったと考える。

2. 事業実施によって得られた成果:

(1) 2次被害の防止

本災害では、多量の土砂と流木、巨石等による被害が発生しており、集落内の用水路や道路等への堆積が見られ、再度の雨による浸水等2次被害の危険が考えられた。

人力での撤去が難しく、かつ、行政の支援までに時間がかかると考えられるニーズに対し、迅速に対応を行うことで、危険個所の流木等の撤去を行い、住民の不安解消に繋げることができた。

(2) 一般ボランティアの活動における安全確保

一般ボランティアの活動地域において、流木や巨石の撤去等を重機で実施することで活動の安全を確保することができた。また、家屋内の土砂撤去等においては、現地ボランティアコーディネーターとしてスタッフが作業の手順等についてアドバイスを実施するなど、安全確保に努めた。

(3) 復旧に関する一般ボランティアのコーディネートと活動の促進

主な活動地域となった西福井地区においては、密集した活動地域において一般ボランティアの活動が円滑に実施できるよう、区長さんと相談しつつ、適切にボランティアの活動コーディネートを行うとともに、適宜、重機によるサポートを実施した。

3. 成功したこととその要因

(1) 現地視察と適切な活動地域の選定

現地視察(7月11日)において、朝倉、日田、東峰村各災害VCを訪問し、運営スタッフ、各災害VCで活動する「災害支援プロジェクト(支援P)」スタッフ等と情報共有を行い、被害状況や外部支援団体の活動状況について十分協議・検討を行ったことで、適切な活動地域での活動が実施できたこと。

(2) 東峰村災害VC宝珠山サテライトとの連携

活動前後に必ず災害VCスタッフと情報共有を実施し、災害VCの依頼に応じ事前の活動箇所の下見やニーズへの対応方法の検討を十分行ったことで、効果的に活動を実施出来た。

(3) 一般ボランティア等との連携・協力

活動に際し、団体スタッフ(2名~4名)だけではなく一般のボランティア(複数名)に協力を求め、毎日チームを組んで活動を実施した。また、西福井地区内では、各一般ボランティアと連携をとりながら、重機の活用状況や活動の進捗に合わせ適宜作業場所を変更するなどしたことで、効果的な活動が実施できた。

(4) 地域の協力

西福井地区においては、区長や地域のキーパーソンとの信頼を築くことができ、使用されていない重機の利用、資機材の保管場所の確保が可能になった。これにより当初は1台で活動予定が、2台での活動も可能になるなど、地域との協力が復旧に大きく貢献した。

4. 失敗したこととその要因(今後に向けて)

(1) 団体としての体力

活動自体は順調に行え、地域の復旧・復興へ僅かながら貢献できたと考えている。特に災害VCと連携した活動は有効的であった。今回のような大規模な災害においては外部支援が大きな力になると考える一方、団体としての体力が十分ではなく、必要とされる被災者すべてへ迅速に対応することが全てできた訳ではない。地域の十分な復興へ貢献するためには、団体としての体力強化が必要と考えている。

事業成果物： 活動写真抜粋 ※活動については、Facebook「コミサボひろしま」をご参照ください。

(用水路からの流木の撤去)



(陥没した生活用道路の復旧)



(敷地内からの大量の土砂の撤去)



(水門の復旧)



(一般ボランティアとの連携)



(被災後)



⇒ (一般ボランティアさんが活動できるほどへ復旧)



(被災後)



⇒

(活動後)

